

節目の節分

副校長 井上 由美

まずは、1月初めの地震で被災された方々へ謹んでお見舞いとお悔やみを申し上げます。一日でも早い復旧と日常を取り戻されることを心よりお祈りいたします。

さて、早いものでもう2月。2月3日は「節分」です。豆まきをするご家庭も多いのではないのでしょうか。最近では恵方巻を食べる人も多いと思いますが、今年は、東北東の向きで食べるのがよいそうです。

この「節分」ですが、もともとは「季節を分ける日」という意味があったそうで、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことだったのですが、現代では、「立春」の前日だけが「節分」として残っているようです。「立春」は、暦の上では、春が始まる日のことなのですが、「立春」だからといってこのまま暖かくなっていくわけではなく、実際には、まだまだ冬といった気候です。節分の日に豆をまくのは、季節の変わり目に生じる「邪気」を追い払い、無病息災を祈る意味があるといわれています。確かに、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですね。ご家庭でも親子のコミュニケーションの機会として「鬼は外！」と、元気いっぱいに豆まきを試してみるのはいかがでしょうか。



ところで先日、「節分」にちなんで子供たちに「あなたの追い払いたい心の中の鬼は何ですか？」とインタビューをしてみました。子供たちは正直に回答してくれました。いちばん多かった回答は何だと思えますか。第1位は・・・「忘れ物鬼」でした。続いて、第2位は「面倒くさい鬼」、第3位は「宿題をさぼる鬼」でした。その他には、「泣き虫鬼」「集中しない鬼」「悪口言い過ぎ鬼」「口が悪くなる鬼」「やさしくできない鬼」「うそをつきたくなる鬼」「眠たくなる鬼」などがありました。なるほど、人間誰しも、失敗することもあるれば、弱いところもあるものです。失敗や弱いところを乗り越え、努力していくことこそ、人を大きく成長させてくれるのです。

今の学年もあと、残すところあと2か月足らずです。「節分」は、春を迎える節目の日。「節分」では、元気いっぱい「邪気」を追い払うと共に、「今年も頑張るぞ！」という気持ちで、心の中の鬼も思いっきり吹き飛ばして、新しい学年に向けて大きく成長してほしいと願っています。

